

歯周病は歯の病気ではない！？

DENTAL CLIP

No.297 H・N

むし歯や歯周病、これらは全部「歯の病気」だと思いませんか？実は歯周病は歯の病気ではありません。

まずは病気を知ることが治すためには大切なことです。

今回のデンタルクリップではむし歯と歯周病の基本についてお話ししたいと思います！

●むし歯と歯周病の違いとは？

むし歯は・・・歯の病気



糖を材料にしてむし菌が出す酸で歯が解ける病気です。

むし菌が少しでもいればむし歯になるかということ、そういうわけではありません。

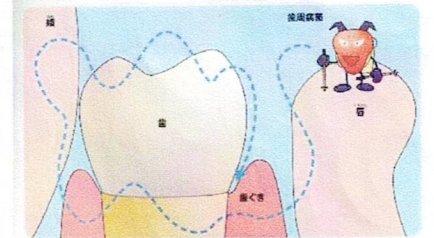
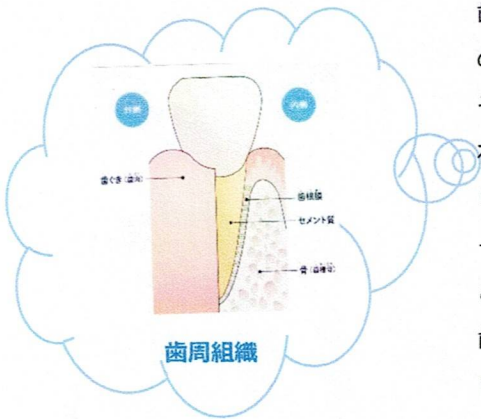
我々の身体、とくに唾液は酸を処理する能力や歯の脱灰(歯が溶けること)を元に戻す能力があります。また食生活やブラッシングでむし菌を減らすことができます

歯周病は・・・歯の周りの病気

歯医者歯の病気を治すのだから歯の病気だと思われるかもしれませんが、実は歯周病は歯の病気ではなく歯の周りの病気なのです。歯は歯ぐきだけではなく他に重要な組織があって、それが歯を支えているのです。

右の図のようにまずは「骨(歯槽骨)」骨がしっかり支えているおかげで、硬いものでもしっかり噛むことができます。ただ骨は歯と直接くっついているわけではなく、歯の根の表面をコーティングしている「セメント質」と「歯根膜」という繊維性組織を介して付着しています。この骨、セメント質、歯根膜の3つと歯ぐきを加えた4つの組織を歯周組織とよんでいます。歯周病は歯の周りの病気であり、歯周組織の病気です。

歯ぐきも歯にくっついていますが、少し隙間があってそこに棲みつく細菌(歯周病菌)が原因で骨が溶けてしまうのが歯周病なのです。



●歯周病の治療は、患者さん参加型？

歯周病菌は左の図のように、口の中で最終的にポケットの中で定着します。

歯科衛生士はガードマンのように毎日ポケット付近を監視することはできません。

歯周病菌の侵入を阻止するのはあなた自身、あなたの使う歯ブラシなのです。

歯科衛生士はなにを監視しているのでしょうか？もちろん日頃の歯磨きが不十分であったら再指導したり、歯石が沈着していたらそれらを除去したりします。

ただ、プロフェッショナルを発揮するのはポケットのなかです。そこはどんなにがんばっても歯ブラシを届かせることはできません。

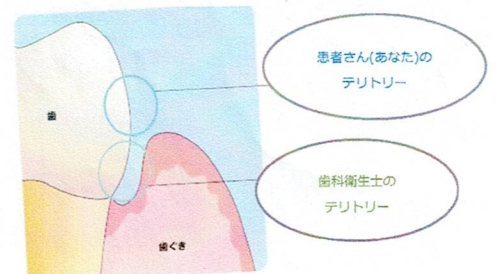
左下の図のように歯ブラシの届かないところは歯科衛生士のテリトリーです。

「ポケットのなか」の歯周病菌は手ごわく、いったん減らしてもまた復活してきます。

そのために定期的に減らして完全復活を阻止しなければなりません。

深いポケットのなかは歯ブラシが届かないので意味がないと考えるいけません！


歯みがきという協力がなければ、ポケットのなかの歯周病菌はすぐ復活してしまいます。



歯周病の治療の成功のカギは、日ごろの歯みがき！

スタッフから

参考文献:nico 2024 7月号 12月号

自分や歯みがきと 歯科医院のクリーニング 両方大切だよ！(ウ)	毎日の歯みがきは大切 です。歯間ブラシも 毎日使うとさらにイデ ア。(R)	歯ぐきの上の掃除は 自分で歯ブラシ歯間ブラ シで、歯ぐきの下の掃除は 歯医者が担当します。(Q)	歯と歯の間も忘れな ように注意しています。 クリニックでの定期的 なクリーニングとセルフ ケアが大切です。(A・Y)	日頃の歯ブラシの 大切さを再確認し ました。丁寧に磨き たいと思います。(M)	鏡を見ながら、 歯に歯ブラシが当た っているか、確認しなが ら磨くようにしよう!!(B)
歯周病の予防の ケアも完璧に行え ようがはっぴー!(R)		しっかりと歯みがきして 歯間ブラシは、しっかりと 汚れないように自分の歯 を守ります。(B)	毎日のブラッシングが 自分の歯を守るための 大切な鍵になります! H・N	歯と歯周組織!! 両方を大切に しなければいけません!(P)	歯みがきの 大切さを 理解しよう!!(D)